

KENWOOD

MP3対応CDレシーバー

FX-5000

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation



© B64-2457-10/01 (JV)

Functional Operation

ソースセレクション

CD/MP3/Changer/KSF モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

EZ Operation

オプション

リモートコントロール

? Operation

? MP3

? Multi Key

? Word

Help

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

CD/MP3、FM/AM放送、交通情報の聴きかた	12
--------------------------	----

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール	46
各モード共通	
電池の入れかた	
CD/MP3/Changer/KSF モード	
TUNERモード	
DNPS/SNPS	
SBF	
TVモード	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

Help? Operation	52
Help? MP3	58
Help? Multi Key	60
Help? Word	62

取り付け方法など

付録

取り付け時のご注意	68
接続	70
取り付け	72
保証とアフターサービス	76
仕様一覧	77

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセレクション	14
ソース選択	
CD/MP3/Changer/KSF モード	16
トラック/ファイルサーチ	
ディスク/フォルダサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
スキャンプレイ	
トラック/ディスク/ファイル/フォルダ	
リピートプレイ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
テキストスクロール	
フォルダセレクト	
TUNER モード	20
バンド切り替え	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
Name Set	22
DNPS (ディスクネームプリセット) /	
SNPS (ステーションネームプリセット)	
AUXネームセレクト	
ディスプレイコントロール	26
ディスプレイタイプ選択	
ディスプレイ表示切り替え	
操作パネル角度調節	
表示パネル位置調節	
フロントパネル取り外し	
フロントパネル取り付け	
パネルオープン	
オーディオコントロール	34
オーディオコントロール	
dBイコライザー	
デュアルゾーン	
ノンフェーダー出力設定	

Menu38

- メニュー設定
- セキュリティコード
- 時計調整

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

TV コントロール44

- チャンネル選択
- バンド/ビデオ切り替え
- プリセットチューニング
- 音声多重切り替え

ソースセレクション

CD/MP3/Changer/KSF モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

オプション

リモートコントロール

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? MP3 本機でプレイできるMP3ファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- ? MultiKey マルチキーシステムについて説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した【リモートコントロール】、本機の取り付け方法などを説明した【付録】があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



CD/MP3の操作
CD/MP3をプレイする操作を表しています。



チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。

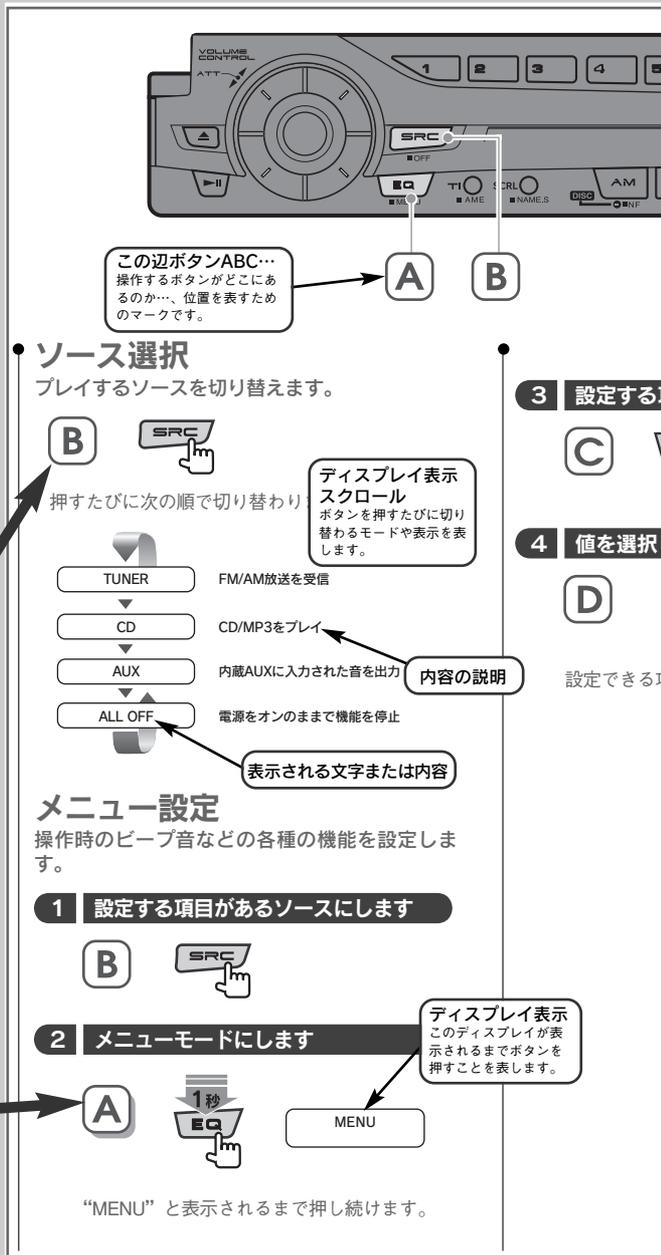


1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押し秒数は矢印の中の表示を目安にできます。



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

ソースセレクション
CD/MP3/Changer/KSF モード
TUNER モード
Name Set
ディスプレイコントロール
オーディオコントロール
Menu

オプション
リモートコントロール

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

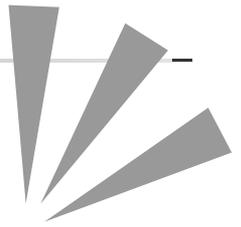
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れしないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れしないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、CDプレーヤー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、CDプレーヤー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記憶されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で30枚まで記憶することができます。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」(70ページ)およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

温度について

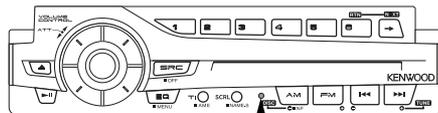
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp (p.52)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

本機でプレイ可能なディスクは  マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

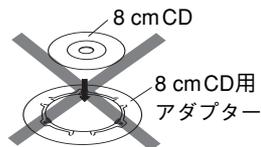
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

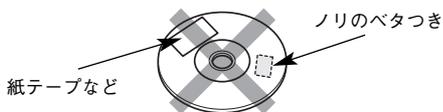
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

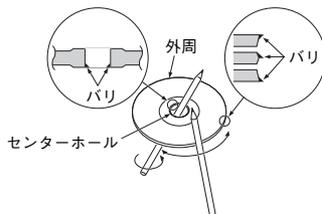
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

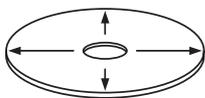
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな
かったり音飛びの原因になります。"バリ"がある
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用し
てください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

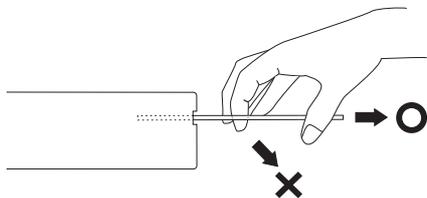
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。





CD/MP3のプレイは簡単！ CD/メディアを差し込むだけです。



CD/MP3をプレイするには…

を押しして操作パネルを開き、プレイするCD/メディアを差し込みます。差し込んだCD/メディアがプレイされます。



- プレイできるMP3メディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3」(58ページ)に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- ディスクが入っているときは、INインジケータが点灯します。



メモリーされている放送局を選びます。

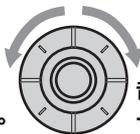
2秒以上押しすると、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



でソースキーモードにしてください。ソースキーモードの詳しい説明は「Help? Multi Key」(60ページ)を参照してください。



音量を下げます。



音量を上げます。



音量をすばやく小さくします。

もう一度押しすと元の音量に戻ります。



電源をオン/オフします。

車のエンジンキーのオン/オフに連動して本機の電源もオン/オフします。

- エンジンキーをオフにしたり、 を1秒以上押しすとフロントパネルが反転し、電源がオフになります。再びパネルを開く場合は、「パネルオープン」(33ページ)をご覧ください。



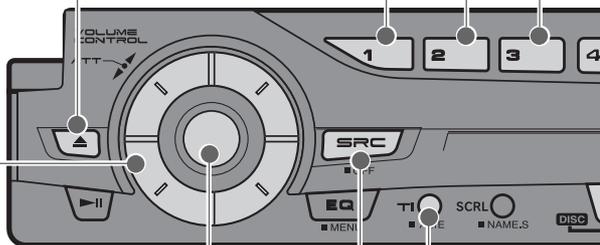
CD/MP3のプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押しすと、FM/AM放送、CD/MP3、ALL OFFに切り替わります。



注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。
- 本機の電源をオンにすると、初めに“CODE OFF”と表示されます。セキュリティコード(40ページ)を設定すると以降は“CODE ON”表示に変わります。



交通情報を受信します。

もう一度押しすと元に戻ります。



交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調節した音量になります。



チューナーの操作



共通の操作



プレイする曲を選びます。

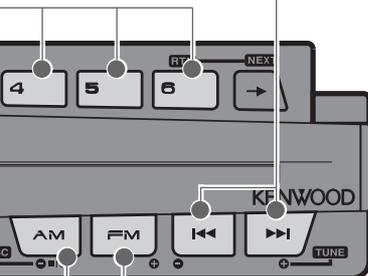


受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1
ステップずつ変えたり、メモリーしている放送
局を順に受信するようにもできます。(38ページ)



交通情報の周波数 (1620KHz/
1629KHz/ 522KHz) を切り替えます。



FM放送のバンド (FM1/FM2)
に切り替えます。



次のMP3フォルダを選びます。



AM放送のバンド (AM1/AM2)
に切り替えます。



前のMP3フォルダを選びます。

Functional Operation

ソースセレクション

CD/MP3/Changer/KSF モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

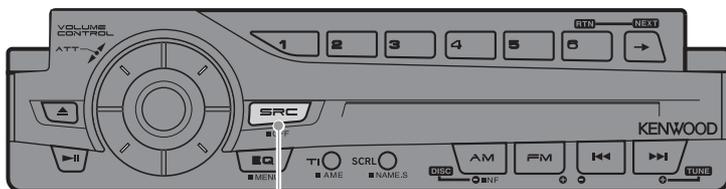
EZ Operation

オプション

リモートコントロール

Help

ソースセレクション



A

ソース選択

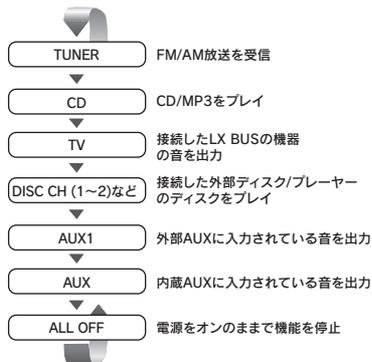
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



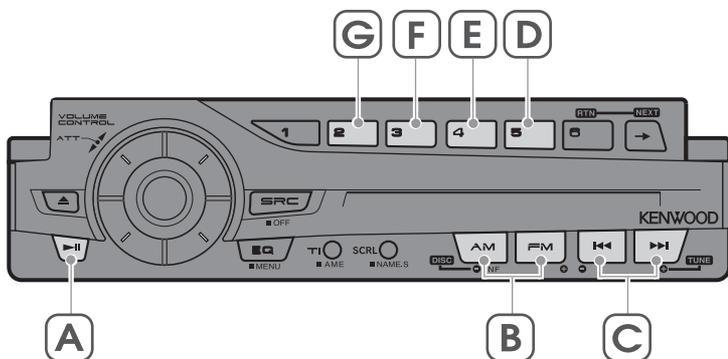
別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- AUXソース (“AUX”) には「メニュー設定」(38ページ)の“AUX”項目が“ON”に設定されているときに切り替わります。
- “AUX”と“AUX1”表示は、「AUXネームセレクト」(24ページ)で替えることができます。
- MP3のメディアが挿入されているときは、CDモードを選択することにより、MP3ファイルのプレイができます。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
“DISC CH (1~2)” : ディスクチェンジャー
“HDD EXT” : HDX-700 (別売品) などの音楽ファイル (KSF) ソース

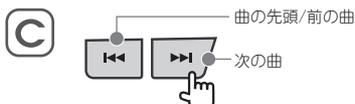
プレイするソースを選びます。

CD/MP3/Changer/KSFモード



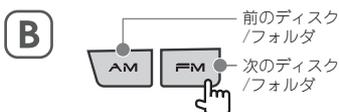
トラック/ファイルサーチ

プレイする曲を選びます。



ディスク/フォルダサーチ

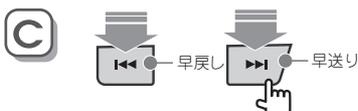
(MP3メディア、ディスクチェンジャー/KSFのみ)
プレイするディスクやフォルダを選びます。



- 10番目のディスク番号は“0”と表示されます。
- KSFファイルのフォルダ番号は下1桁が表示されます。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

- MP3ファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。
- KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



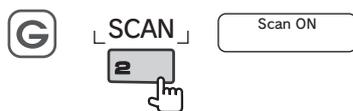
もう一度押すとプレイを再開します。

スキャンプレイ

[MULTI] <ソースキーモード>

ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



スキャンプレイ中は“[SCAN]”が表示されます。

2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

CD/MP3や別売品のディスクチェンジャー、HDX-700の音楽ファイル (KSF) ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

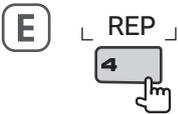
基本的なCDの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

MULTI  は、マルチキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

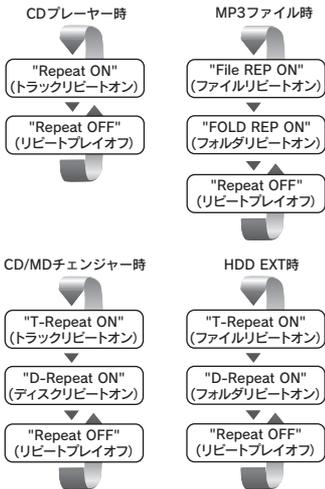
トラック/ディスク/ファイル/フォルダリピートプレイ

MULTI  <ソースキーモード>

現在聴いている曲またはディスク/フォルダを繰り返しプレイします。



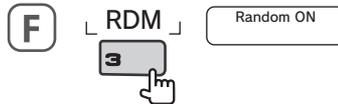
押すたびに、次のようにオン/オフします。
リピートプレイ中は「**REP**」が表示されます。



ランダムプレイ

MULTI  <ソースキーモード>

現在のディスクやフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。

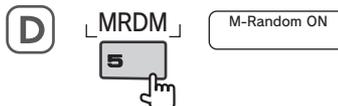


押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。
ランダムプレイ中は「**RDM**」が表示されます。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

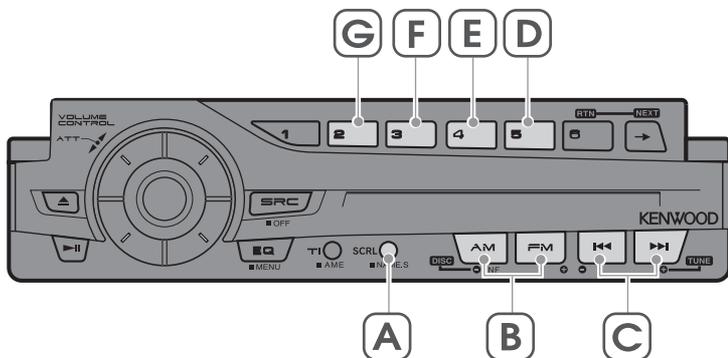
MULTI  <ソースキーモード>

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。
マガジンランダムプレイ中は「**MRDM**」が表示されます。

CD/MP3/Changer/KSFモード



● テキストスクロール

ディスプレイに表示されるテキストを、スクロール設定が「MANU」のときにテキストをスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(28ページ)を参照して、テキスト表示にします。

2 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help? Word」の「Scroll」(64ページ)を参照してください。
- スクロール設定を「Auto」にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定の方法は、「メニュー設定」(38ページ)を参照してください。

● フォルダセレクト(MP3メディアのみ)

MULTI > <ソースキーモード>

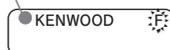
聴きたいMP3の曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



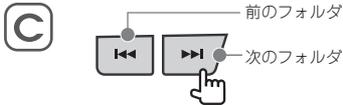
ディスプレイに以下の表示がされます。

フォルダネーム表示
フォルダネームを表示します。



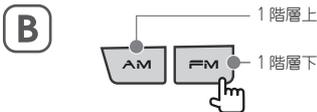
2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



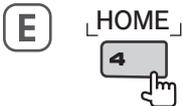
押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3」(58 ページ)を参照してください。

フォルダネームをスクロールするときは…



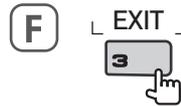
3 聴きたい曲が入っているフォルダで…



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3ファイルがプレイされます。

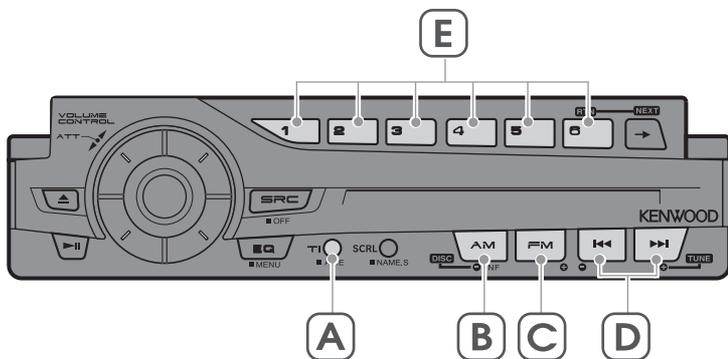
フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3ファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

フォルダセレクトを中止するときは…



MULTI は、マルチキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

TUNER モード



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto 1”のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto 2”のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。
(メモリーの方法は後記を参照してください)

チューニングモードが“Manual”のとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニュー設定」(38ページ)の“Seek”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーします



- 周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

MULTI  は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめにHelp? Multi Key（60ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

MULTI  <ソースキーモード>

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

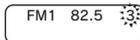
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン（1~6のいずれか）を選びます

（マルチキー表示なし）



ボタンナンバー表示が1回点減するまで押し続けます。

プリセットチューニング

MULTI  <ソースキーモード>

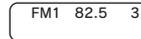
メモリーボタン（1~6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

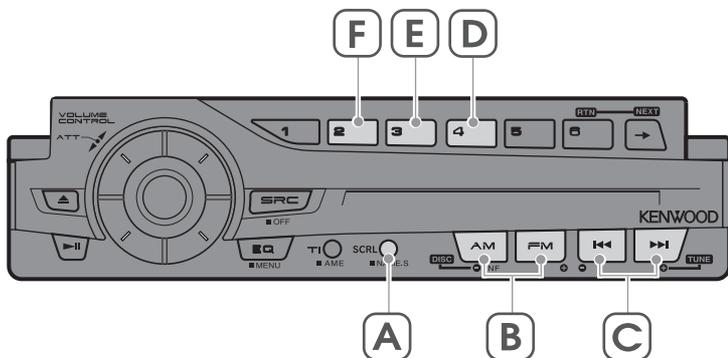
2 メモリーボタン（1~6のいずれか）を選びます

（マルチキー表示なし）



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

Name Set



DNPS (ディスク名前プリセット) / SNPS (ステーション名前プリセット) CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

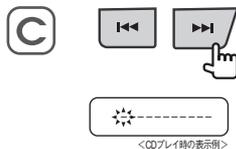
- MDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局や、本機内蔵のCDプレーヤーでプレイ中のMP3にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

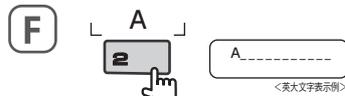
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



<CDプレイ時の表示例>

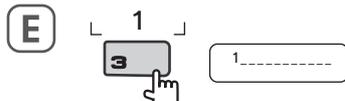
4 文字の種類を選びます

英大文字/英小文字を選択するときは…

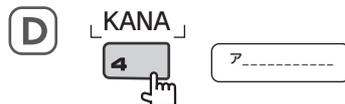


押すたびに、英大文字と英小文字とを切り替えます。

数字/記号を選択するときは…

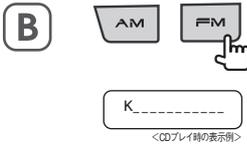


カタカナを選択するときは…



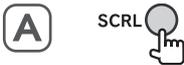
FM/AM放送局や本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャー/CDプレーヤーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

5 文字を選びます



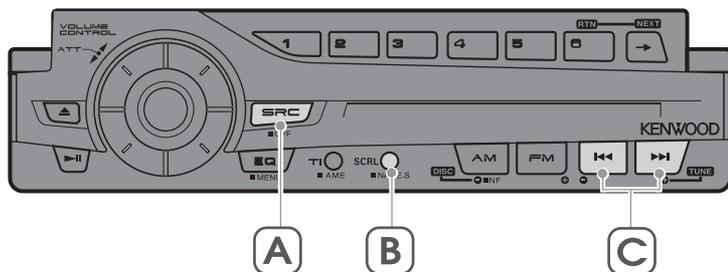
6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- 名前はDNPSで12文字まで、SNPSで8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- DNPSは本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーを合わせて30枚まで登録できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局が32局、AM放送局が16局です。
- 登録したディスクの名前を選択して、ディスクをプレイすることもできます。詳しくは「SBF」（50ページ）をご覧ください。

Name Set



AUXネームセレクト

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXモードにします



2 ネームセットモードにします



“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



以下のように切り替わります。

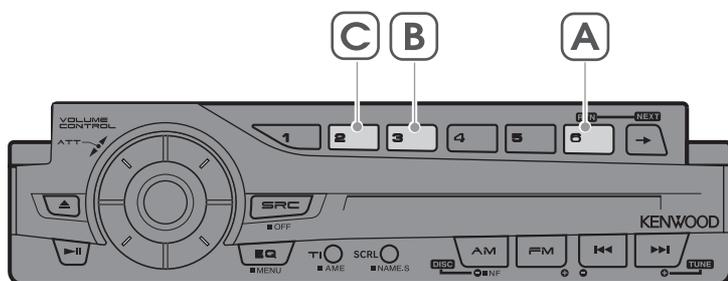


4 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機を外すと、AUXネームは“AUX”、“AUX1”に戻ります。

ディスプレイコントロール



ディスプレイタイプ選択

MULTI → <ファンクションキーモード>
ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

1 ディスプレイコントロールモードに入ります



2 ディスプレイタイプを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



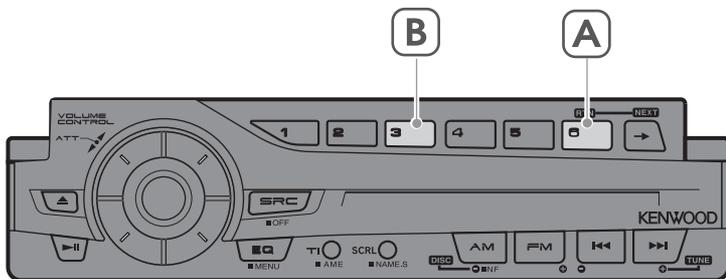
3 ディスプレイタイプ選択を終了します



ディスプレイの表示タイプや表示する情報の設定をします。

  は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

ディスプレイコントロール

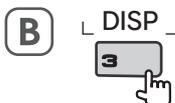


ディスプレイ表示切り替え

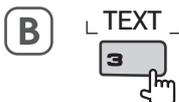
MULTI → <ファンクションキーモード>

文字情報を切り替えます。

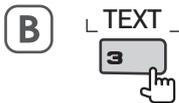
1 ディスプレイコントロールモードに入ります



2 文字情報切り替えを選択します



3 文字情報を選択します

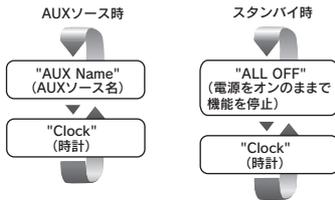


押すたびに次の順で切り替わります。

! **⏪** または **⏩** でも切り替わります。



MULTI  は、マルチキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

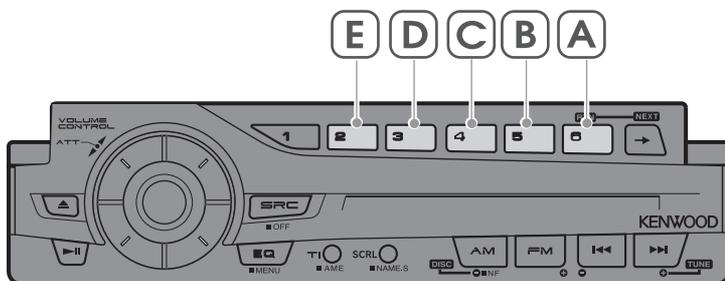


- DNPS : ディスクネームプリセット (22ページ)
 - SNPS : ステーションネームプリセット (22ページ)
- なお、CDプレイ時のディスクタイトルはディスクテキスト、トラックタイトルはトラックテキストが表示されます。
- SNPSが登録されていないと、周波数が表示されます。
 - ディスク/トラックタイトル、曲名、アルバム名、ファイル名、フォルダ名が記録されていないディスクを再生中に上記の表示に切り替えると、演奏時間が表示されます。

4 文字表示切り替えを終了します



ディスプレイコントロール

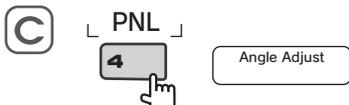


操作パネル角度調節

MULTI → <ファンクションキーモード>

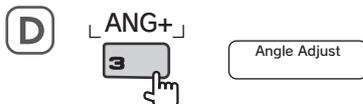
操作パネルの角度を調整します。

1 パネルコントロールモードに入ります



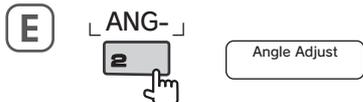
2 パネルの角度を調整します

操作パネルを下方向に向けます



押すたびに、操作パネルが下方向に移動されます。

操作パネルを上方向に向けます



押すたびに、操作パネルが上方向に移動されます。

- 操作パネルの角度を調整中は、音声は出力されません。
- エスカッション（パネルの枠）を使用しているときは、表示パネルを一番奥にした状態でパネルの調節角度を下方向に2段階以上移動すると、本機のエスカッションに干渉することがあります。

3 パネルの角度調整を終了します



- パネルの調節角度によっては、イジェクト動作などでシフトレバーなどに干渉することがあります。安全に注意して、パネルの角度を調整するか、「メニュー設定」（38ページ）の“Eject Ang”項目を“Slp”に変更してください。

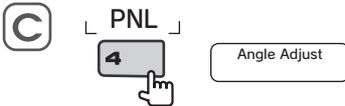
MULTI  は、マルチキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

表示パネル位置調節

MULTI  <ファンクションキーモード>

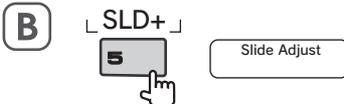
表示パネルの位置を調整します。

1 パネルコントロールモードに入ります



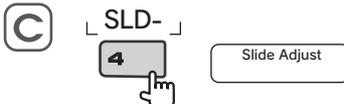
2 パネルの位置を調整します

表示パネルを手前方向に移動します



押すたびに、表示パネルが手前方向に移動されます。

表示パネルを奥方向に移動します



押すたびに、表示パネルが奥方向に移動されます。

- 表示パネルの位置を調整中は、音声は出力されません。
- エスカッション（パネルの枠）を使用しているときは、表示パネルの位置を一番奥に移動すると、本機の表示エスカッションに干渉することがあります。

3 パネルの位置調整を終了します



ディスプレイコントロール

● フロントパネル取り外し

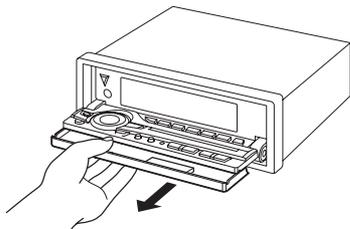
フロントパネルを取り外します。

1 操作パネルを水平にします

電源をオフにします。

- 操作パネルを水平に保つ時間は「メニュー設定」(38ページ)の“Off Wait”項目で設定ができます。

2 フロントパネルを取り外します

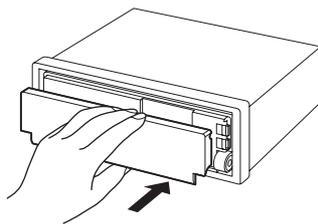


手前に引きます。

- 電源がオンのままでもパネルを取り外すことができます。パネルを取り外したあと「メニュー設定」(38ページ)の“Off Wait”項目で設定されている時間がたつとパネルが裏返し電源がオフになります。
- 「メニュー設定」(38ページ)の“DSI”項目が“ON”になっていると、盗難防止用警告ランプが点滅します。

● フロントパネル取り付け

フロントパネルを取り付けます。

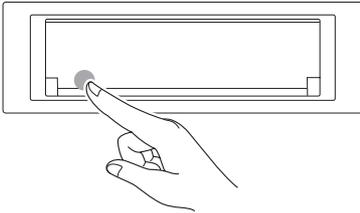


フロントパネルを本体に合わせてロックするまで押します。

フロントパネルを取り外すと、盗難防止警告ランプが点滅し盗難防止の手助けとなります。

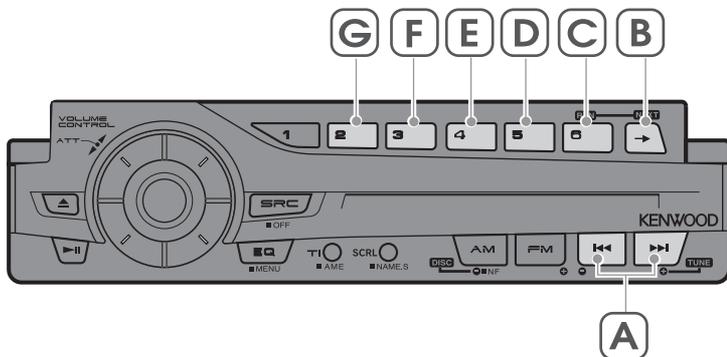
● パネルオープン

本機の電源をオフにして操作パネルを閉じたときに、再び操作パネルを開けることができます。



フロントパネルの左下を押します。
操作パネルが開き、再び操作が行えるようになります。

オーディオコントロール

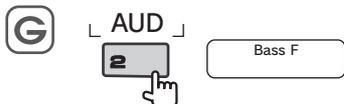


オーディオコントロール

MULTI → <ファンクションモード>

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



2 調整する項目のあるページを表示させます



押すたびにオーディオコントロールページが切り替わります。

下記の表を参照して、調整するオーディオ項目があるオーディオコントロールページを選択します。

オーディオコントロールページ ボタン	1ページ	2ページ
2	「BASS」 低音の 音量レベル	「HPF」 低音カット
3	「MID」 中低音の 音量レベル	「LPF」 フーンフェダー 高音カット
4	「TRE」 高音の 音量レベル	「N-F」 フーンフェダー 出力
5	「BL/F」 左右前後の 音量レベル	「VOFF」 ソース間の レベル差

3 設定項目を選択します



押すたびに手順4の表の設定項目が切り替わります。

4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

「BASS」調整項目

設定項目	設定値
Bass F* (低音中心周波数)	60/70/80/ 100または150(Hz)
Bass (低音)	-8~+8
Bass Q* (低音クオリティファクター)	1.00/1.25/1.50/2.00
Bass EXT* (低音中心周波数伸張)	OFF/ON

「MID」調整項目

設定項目	設定値
MID F* (中低音中心周波数)	0.5/1.0/1.5/2.0(kHz)
Middle (中低音)	-8~+8
Middle Q* (中低音クオリティファクター)	1.0/2.0

音量バランスの調整などをします。
また、ジャンル別にメモリーされているオーディオ設定を呼び出します。

MULTI  は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

「TRE」調整項目

設定項目	設定値
TRE F* (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0 /17.5(kHz)
Treble (高音)	-8~+8

「BL/F」調整項目

設定項目	設定値
Balance (左右の音量レベル)	L15~R15
Fader (前後の音量レベル)	R15~F15

「HPF」調整項目

設定項目	設定値
HPF* (Front/Rear低音カット)	THRU/100/125/ 170(Hz)

「LPF」調整項目

設定項目	設定値
LPF NF* (ノンフェーダー高音カット)	50/80/120/THRU(Hz)

「N-F」調整項目

設定項目	設定値
NF Level (ノンフェーダープリアウト出力レベル)	-15~+15

「VOFF」調整項目

設定項目	設定値
V-Offset* (ソース間のレベル差)	-8~0

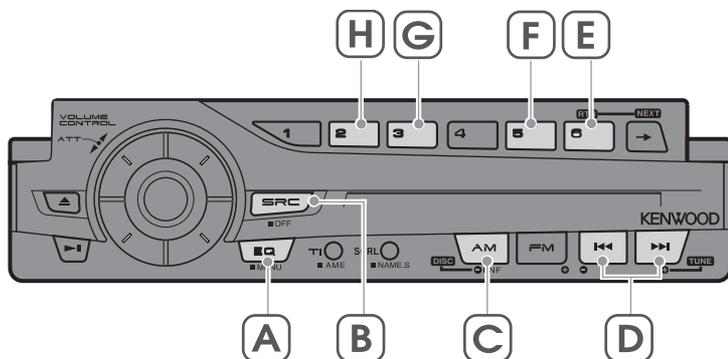
- “Bass”、“Middle”、“Treble”、および “V-Offset” は各ソースごとに設定できます。
- *マークが付いた項目の詳細機能については、「Help? Word」(62ページ) をご覧ください。
- “NF Level”、“LPF NF” は「ノンフェーダー出力設定」(37ページ) が “ON” のときに設定できます。
- 「HPF」および「LPF」および「N-F」調整項目は「デュアルゾーン」(37ページ) が “ON” 中は設定できません。
- “Bass F” (低音中心周波数) の設定可能な周波数は、“Bass Q” (低音クオリティファクター) の設定値により以下のように変わります。

Bass Q 設定値	Bass F 設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100(Hz)
2.00	60/70/80/150(Hz)

5 オーディオコントロールモードを終了します



オーディオコントロール



dBイコライザー

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その効果の強弱を設定します。

1 設定するソースにします



2 dBイコライザーモードにします



3 dBイコライザーを選択します



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

- “User” は「オーディオコントロール」(34ページ) で設定した音質を呼び出します。
- 「dBイコライザー」はALL OFF以外の各ソースごとに設定できます。
- それぞれの音質の特徴については「Help ?Word」(63ページ)をご覧ください。



4 効果の強弱を選択します



押すたびに、“High” と “Low” とに切り替わります。

- “Flat” または “User” を選択中は切り替えられません。

5 dBイコライザー選択モードを終了します



1秒以上押します。
または、10秒以上なにも操作しないでおきます。

MULTI  は、マルチキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

デュアルゾーン

MULTI  <ファンクションキーモード>

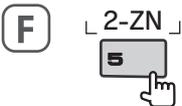
フロントチャンネルおよびリアチャンネルから出力するソース音声を設定します。

1 設定するソースにします

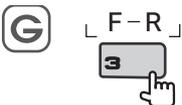


“AUX”、“AUX1”、“DISC CH”または“HDD EXT”を選択します。

2 デュアルゾーンモードに入ります



3 今のソースを出力するスピーカーを選択します



押すたびに手順1で選んだソースの音声を出力するスピーカーが“Front”と“Rear”に切り替わります。

 出力するスピーカーの選択は、デュアルゾーンが“OFF”に設定されているときに選択ができます。

4 デュアルゾーンをオンにします



押すたびに“ON”と“OFF”が切り替わります。

-  ● “ON”に設定をしても、最初はフロント、リアともに手順1で設定したソースになっています。
 を押すと手順3で選択していないスピーカーからそのソースの音が出力されます。
- “Guide”項目(39ページ)を“INT”に設定しているときは、デュアルゾーンのオン・オフの切り替えはできません。
- fLZ77(別売品)を接続して、TVソースを選択しているときに、デュアルゾーンを“ON”に設定するとTVソースの音は出力されません。
- デュアルゾーンの詳しい機能については、「Help? Word」(63ページ)をご覧ください。

5 デュアルゾーンモードを終了します



ノンフェーダー出力設定

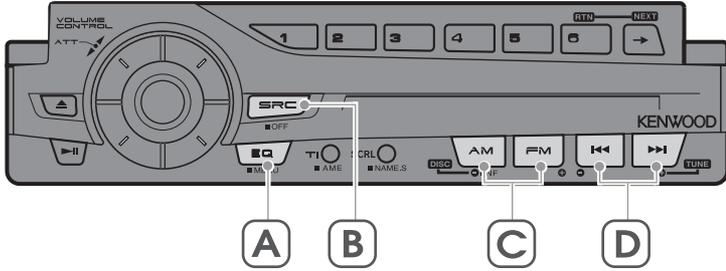
ノンフェーダー出力のオン/オフを切り替えます。



1秒以上押すたびに、ノンフェーダー出力がオン/オフします。

-  ● ノンフェーダー出力設定は「メニュー設定」(38ページ)の“SWPRE”項目が“N-Fad”に設定されているときに可能です。
- 「デュアルゾーン」(37ページ)を“ON”に設定しているときは使用できません。

Menu



メニュー設定

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定する項目があるソースにします

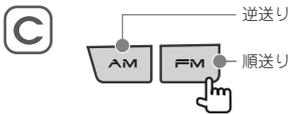


2 メニューモードにします



“MENU” と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

全ソース中

設定項目	設定値
Beep* (ビープ音)	ON/OFF
Clock Adjust (時計調整)	調整の方法は42ページをご覧ください。
DSI* (盗難防止用警告ランプ設定)	ON/OFF
Contrast* (ディスプレイの文字のコントラスト設定)	0 ~ 5 ~ 10
Dimmer* (車両ライトがオン時の減光設定)	ON/OFF
Off Wait* (パネルの取り外し時間設定)	0s/3s/5s/10s/ 15s/20s/25s
dB PRO* (オーディオコントロールのFやQ、EXT項目の表示設定)	ON/OFF
AMP Bass* (外部アンプ低音出力コントロール)	FLT/+6/+12 /+18
AMP Freq* (外部アンプ低音周波数コントロール)	NML/Low
Scroll* (テキスト表示のスクロール設定)	Auto/MANU
NAV VOL* (ナビ音声ガイド時の音量設定)	12 ~ 19 ~ 26
AUX* (内蔵AUXソースの切り替え設定)	ON/OFF

(太字: 初期設定値)

本機のいろいろな機能を設定します。

TUNERモード中

設定項目	設定値
Seek* (チューニングモード設定)	Auto 1/Auto 2 /Manual
MONO* (モノラル受信設定)	ON/OFF

(太字：初期設定値)

ALL OFFモード中

設定項目	設定値
Security* (セキュリティコードの登録設定)	設定の方法は40ページをご覧ください。
Eject Ang* (CDイジェクト時のパネル動作設定)	Slp/Lvl
SWPRE* (プリアウト出力選択)	Rear/N-Fad
AMP Mute* (内蔵アンプの出力停止設定)	ON/OFF
Guide* (ナビ音声ガイド時の割り込み/ミュート設定)	OFF/ATT/ F-ATT/INT
CD READ* (CD Read設定)	1/2

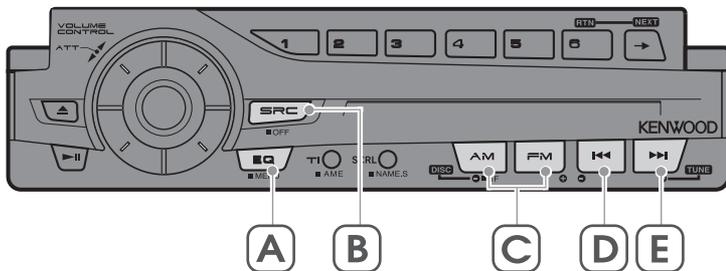
(太字：初期設定値)

- *マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help?Word」(62ページ)をご覧ください。
- “AMP Bass”と“AMP Freq”で本機からコントロール可能なアンプ機種についてはカタログをご覧ください。
- “NAV VOL”は、“Guide”項目を“INT”に設定しているときに選択できます。
- 「デュアルゾーン」(37ページ)が“ON”のときは“Guide”項目の“INT”は設定できません。
- “AUX”項目はAUXソースを選択中や「デュアルゾーン」(37ページ)が“ON”に設定されているときは選択できません。
- ALL OFFモード中は、ナビ音声ガイドの割り込みはできません。
- “Guide”項目を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSFを再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声ナビ音声ガイドと一緒に聴こえる場合があります。

5 メニューモードを終了します



Menu



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

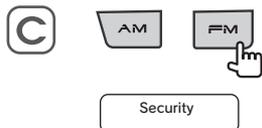


2 メニューモードにします

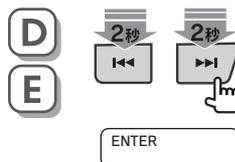


“MENU” と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

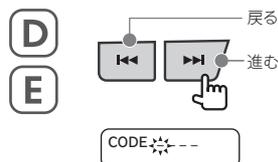


4 セキュリティコード入力を開始します

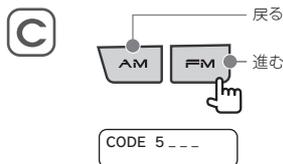


または [MEM] を “ENTER” と表示されるまで押し続けます。

5 コード入力桁を選択します



6 コードを選択します



7 セキュリティコードを完成させます

手順 5～6 を繰り返して 4 桁のセキュリティコードを完成させます。

8 セキュリティコードを登録します



“RE-ENTER”と表示されるまで押し続けます。

9 セキュリティコードを再入力します

確認のためセキュリティコードを手順5～7の方法で再度入力します。

● 手順5～7と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

10 セキュリティコードを再度登録します



“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

11 セキュリティコードの登録を終了します

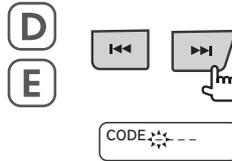


メニューモードを終了するときには、もう一度押します。

セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコード入力桁を選択します



セキュリティコードを手順5～7の方法で入力します。

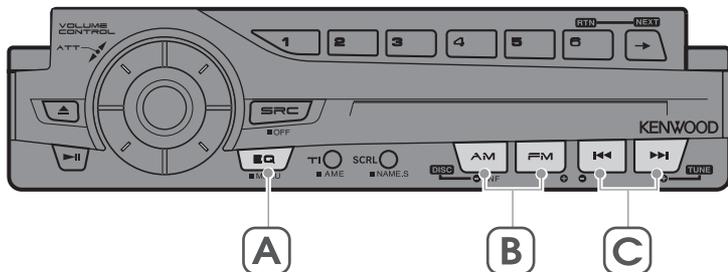
2 セキュリティコードを確定します



“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。本機が使用可能となります。

● セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、「パネルオープン」(33ページ)を参照して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。

Menu



時計調整

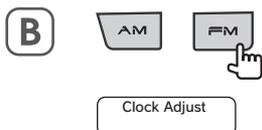
時刻を合わせます。

1 メニューモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

2 時計調整項目を選択します



3 時刻合わせを開始します



[] または [] を時計が点滅表示されるまで押し続けます。

4 時刻を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる

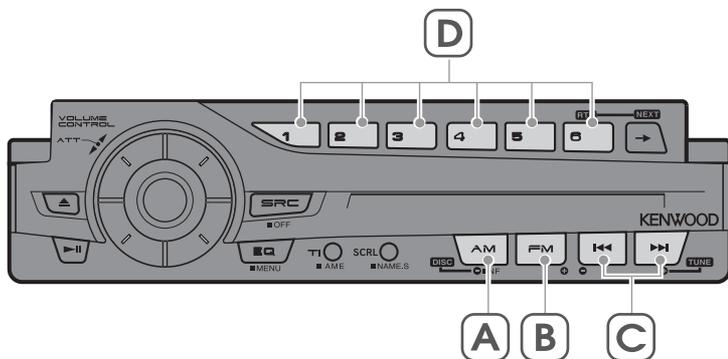


5 時刻合わせを終了します



分を調整した時は、“00”秒からカウントがスタートします。
メニューモードを終了するときは、もう一度押します。

TVコントロール



● チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

● プリセットチューニング

MULTI <ソースキーモード>

受信中のTV放送局をメモリーします。

1 バンドを選択します



2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます

(マルチキー表示なし)



! 「プリセットメモリー」の方法はTVモニターに付属の取扱説明書を参照してください。

別売品のLX-BUS対応のTVやナビゲーション“HDX-700”などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることもできます。

  は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめにHelp? Multi Key (60ページ) をご覧ください。

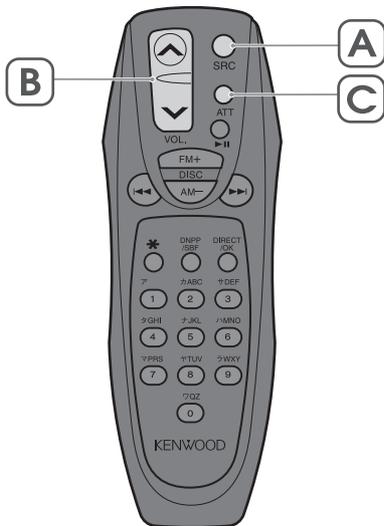
音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



リモートコントロール

各モード共通



ソース切り替え

A



プレイするソースを切り替えます。

音量調節

B



音量を調節します。

アッテネーター

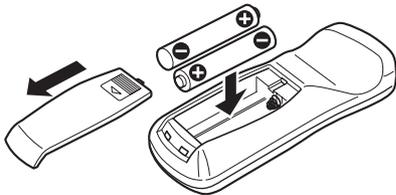
C



ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

電池の入れかた

付属の電池（単3型2本）を＋／－の向きを正しく合わせて入れてください。

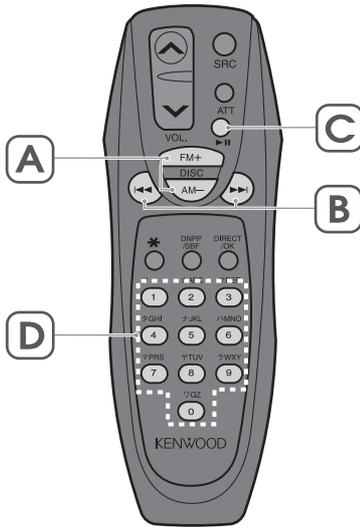


● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。



- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入った、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

CD/MP3/Changer/
KSF モード



ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ) /フォルダサーチ

A



プレイするディスク/フォルダを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

B



プレイする曲/ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C



プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D



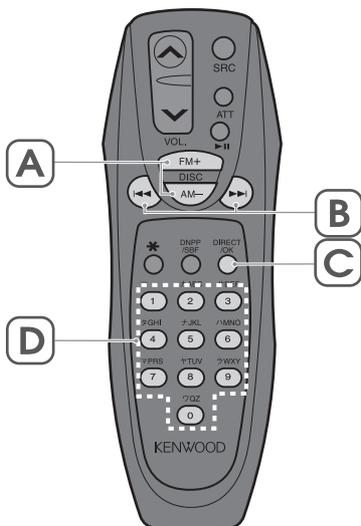
テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。MP3ファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。



KSFをプレイ時は、ダイレクトサーチできません。

リモートコントロール

TUNER モード



バンド切り替え

A



受信するバンドを切り替えます。

選曲

B



受信する放送局を切り替えます。

ダイレクトチューニング

C



このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

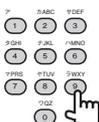
7 6 1

例：0522kHz(AM)の場合（4桁）

0 5 2 2

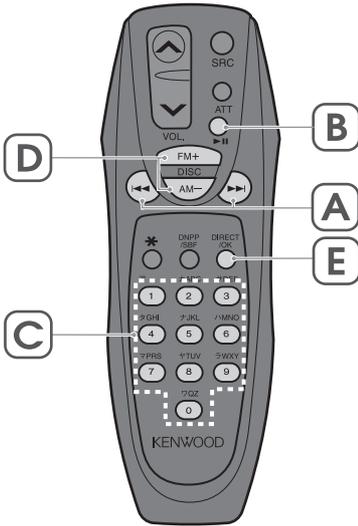
テンキー

D



メモリーされている放送局の番号を選択します。（①～⑥）
ダイレクトサーチキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

**DNPS (ディスクネームプリセット) /
SNPS (ステーションネームプリセット)**



カーソル

A カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

B 入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/数字・記号/カタカナ) を切り替えます。

テンキー

C 文字を入力します。
例: 「コ」を入力する場合 (カタカナ)
② (5回押す)
例: 「h」を入力する場合 (英小文字)
④ (2回押す)

文字選択

D 文字を順に切り替えます。

終了

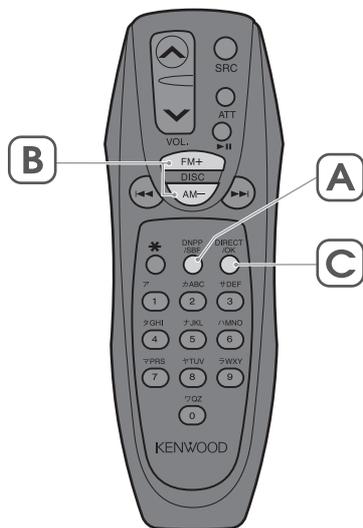
E 登録が完了します。

● ● SNPS/DNPSを開始するには、本体の SCRL 〇 を 2 秒以上押し
ます。詳しい操作方法は22ページを参照してください。

リモートコントロール

● SBF (セレクトバイファイルプレイ)

別売品のCDチェンジャーにセットされているCDの中から、DNPSで付けたディスク名を表示させて探す機能です。(SBFはリモコンでだけ使用できる機能です)



SBFを開始します

A



“DNPP”と表示されてSBFモードになります。
ディスク名が5秒間ずつ表示されます。

聴きたいディスクの表示順を変えます

B



ディスク名を順送り/逆送りします。

ディスクを選びます

C



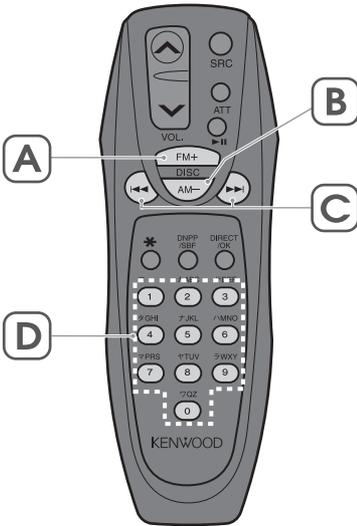
表示中のディスクをプレイします。

SBFを中止します

A



● TV モード



バンド/ビデオ切り替え

A



受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

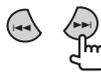
B



メイン音声/サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

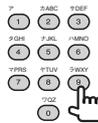
C



受信するチャンネルを選択します。

テンキー

D



メモリーされている放送局の番号を選択します。(① ~ ⑨)

Help ? Operation

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(70ページ)を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- メニュー設定の“AMP Mute”項目が“ON”に設定されている。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(34ページ)
- メニュー設定の“AMP Mute”項目を“OFF”に設定してください。(38ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(70ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(70ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

オーディオコントロールで表示されない項目がある

- メニュー設定の“dB PRO”項目が“OFF”に設定されている。
- メニュー設定の“dB PRO”項目を“ON”に設定してください。(38ページ)

オーディオコントロールのノンフェーダー項目が表示されない

- メニュー設定の“SWPRE”項目が“Rear”に設定されている。
- ノンフェーダー出力がオフに設定されている。

- メニュー設定の“SWPRE”項目を“N-Fad”に設定します。(38ページ)
- ノンフェーダー出力をオンに設定します。(37ページ)

内蔵AUXを“OFF”に設定してもAUXソースに切り替わる

別売品KCA-S210AのAUXスイッチがONになっている。

KCA-S210Aに付属の取扱説明書を見てAUXスイッチをOFFにしてください。

電源をオフにしてもパネルが裏返らない

障害物にあたって本機のプロテクションがかかった。

SRCボタンをパネルが閉まるまで、押し続けてください。

CD/Changer mode

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しになっている。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(17ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(16ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(17ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

文字がスクロールされない

- 情報文字数が12文字以下のため。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名およびアーティスト名です。

ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

トラック/ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へトラック/ファイルサーチしようとしている。

ディスク/フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはトラック/ファイルサーチできません。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてからイジェクトボタンを押してください。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

MP3

MP3ディスク、MP3ファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3ファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。
- メニュー設定の“CD READ”項目が“2”に設定されている。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (58ページ)に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルには“.MP3”を付けてください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- メニュー設定の“CD READ”項目を“CD READ 1”に設定してください。(38ページ)

MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に付いている“.MP3”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (58ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tag情報が正しく表示されない

ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

CD-RWに記録したMP3ファイルがプレイされない

CD-RWの消去を簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWを消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

トラック/ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へトラック/ファイルサーチしようとしている。

ディスク/フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはトラック/ファイルサーチできません。

Menu

セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、メニュー設定項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Name Set/SBF

DNPSができない

- MDをプレイしている。
- マガジンランダムがオンになっている。

- MDにDNPSはできません。
- マガジンランダムをオフにしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

- FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーションネームを登録した。
- 車両のバッテリーを交換などしたため。
- 本機のリセットボタンを押したため。

- 登録できるステーションネームはFM放送で32局、AM放送で16局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。
- 本機のリセットボタンを押すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 31枚目のディスクネームを登録した。
- 本機のリセットボタンを押したため。

- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて30枚です。
- 本機のリセットボタンを押すとディスクネームは消去されます。

ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

- ディスクネームが登録されていない。
- プレーヤーやマガジンに入っているCDを一度もプレイしていない。

- ディスクネームを登録してください。
- すべてのCDをプレイしてください。

本機はMP3ファイルをプレイすることができませんが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できるMP3を収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

なお、本機では簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1、MPEG 2、MPEG 2.5 Audio Layer 3規格のもので、

- サンプル周波数
: 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート: 8 - 320 (kbps)

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1: 12文字
 - ISO 9660 Level 2: 31文字
 - Joliet: 64文字
 - Romeo: 128文字
- なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層: 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数: 255
- 最大フォルダ数: 50
- 最大フォルダ名: 64文字

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3ファイルと認識されてプレイされるファイルは、“MP3”の拡張子が付いたものだけです。MP3ファイルには、“MP3”拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3以外のファイルに、“MP3”の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3以外のファイルに、“MP3”拡張子を付けないようにしてください。

ID3 Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は半角英数字、カタカナです。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

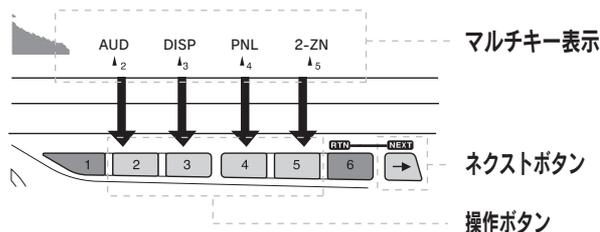
このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次のMP3ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Help ? Multi Key

マルチキーシステムとは、1～6ボタンに割りあてられる機能を  ボタンで<ファンクションキーモード>と<ソースキーモード>とに切り替えるシステムです。

本書では、 <ソースキーモード>または  <ファンクションキーモード>と記載されている機能は  ボタンで対応のキーモードにしてから操作を行います。



<ファンクションキーモード中の機能>

AUD …オーディオコントロールの設定ができます。(34～35ページ)

DISP …ディスプレイに表示する情報を設定できます。(26～29ページ)

PNL …操作パネルの角度や位置の調節ができます。(30～31ページ)

2-ZN …デュアルゾーンの切り替えができます。(37ページ)

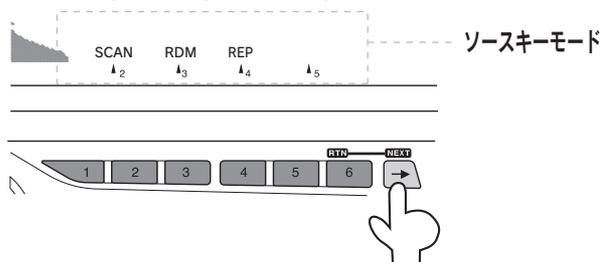
<ソースキーモード中の機能>

CD/MP3/Changer/KSFモード (16～19ページ) およびTUNERモード (20～21ページ) など、音楽ソース別の機能を使うことができます。

TUNERモード/TVコントロールモードではマルチキー表示されないモードがソースキーモードです。

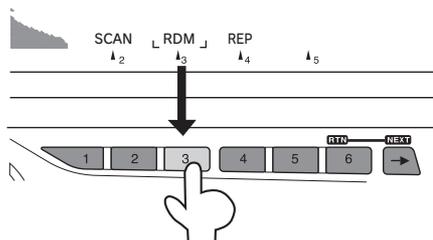
【ソースキーモードの操作例】CDをプレイ中にランダムプレイをするときは…

1、<ソースキーモード>にします



! <ソースキーモード>になっている場合は、手順2へ進みます。

2、ランダムプレイをオン/オフします



押すたびにランダムプレイがオン/オフします。

! 詳しいランダムプレイについては「ランダムプレイ」(17ページ)を参照してください。

AMP Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Freq

(アンプフリケンシー)

「AMP Bass」で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

AMP Mute

(アンプミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“ON”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクォリティをアップさせることができます。

AUX

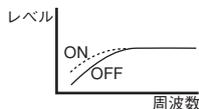
(エーユーエックス)

ソース選択時に内蔵AUXソースも含めて切り替えるかを設定することができます。内蔵AUX入力を使用していないときは、“OFF”に設定しておけば、内蔵AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

Bass EXT

(バスエキステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



Bass F/MID F/TRE F

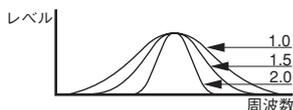
(バスフリケンシー/ミドルフリケンシー/トレブルフリケンシー)

低音、中音、高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q/Middle Q

(バスクォリティーファクタ/ミドルクォリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



Beep

(ビーブ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1秒以上または2秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ビップ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、Beep音はプリアウトからは出力されません。

dB PRO

(ダイナミックブーストプロ)

オーディオコントロール時に“Bass F”、“Bass Q”、“Bass EXT”、“MID F”、“Middle Q”、“TRE F”項目も含めて調整するか設定ができます。詳細な設定をしないときは、“OFF”に設定しておけば、これらの項目に切り替わらないので、スムーズな項目の切り替えができます。

dBイコライザー

(ダイナミックブーストイコライザー)

ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

- Rock：スピーディーで力強いアタック音を再現します。
- Vocal：生き生きとしたボーカルを主体に再現します。
- Easy：中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。
- Dance：ビートの利いた音を再現します。
- Jazz：ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

CD READ

(CD リード)

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“CD READ 2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“CD READ 2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“CD READ 2”に設定するとMP3のプレイはできなくなります。通常は“CD READ 1”でお使いください。

CD READ 1：MP3ディスクと音楽CDを自動認識して再生します。

CD READ 2：音楽CDとして強制的にプレイしませ

Contrast

(コントラスト)

文字のコントラストを設定することができる機能です。

Dimmer

(ディマー)

この機能を“ON”に設定しておくと、車両のライトスイッチをオン/オフにしたときに、ディスプレイの明るさを切り替えることができます。

DSI

(ディセイブルシステムインジケーター)

この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

Dual Zone システム

(デュアルゾーンシステム)

本機では、内蔵AUX (“AUX”)、別売品のディスクチェンジャー、KCA-S210AまたはCA-C1AXを接続したときの外部AUX (“AUX1”)、およびKSFをフロントチャンネルとリアチャンネルに異なるソースの音を出力することができます。

まず、「デュアルゾーン」(37ページ)でデュアルゾーンを“OFF”にして、フロントおよびリアから出力するソースを設定します。

“DISC CH”、“AUX1”または“HDD EXT”を選択時

Front：フロント.. ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音声を出力

リア..... CD、TUNER、または内蔵AUXソースの音声を出力

Rear：フロント.. CD、TUNER、または内蔵AUXソースの音声を出力

リア..... ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音声を出力

“AUX”を選択時

Front：フロント.. 内蔵AUXソースの音声を出力

リア..... CD、TUNER、ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音声を出力

Rear：フロント.. CD、TUNER、ディスクチェンジャー、外部AUXソースまたはKSFの音声を出力

リア..... 内蔵AUXソースの音声を出力

次に、デュアルゾーンを設定します。

ON：フロントとリアで異なるソースの音声を出力

OFF：フロントとリアで同じソースの音声を出力

なお、デュアルゾーンの設定を“ON”に設定している場合は、オーディオコントロールなどのサウンドエフェクトはデュアルゾーンに設定していないスピーカーにかかります。

Eject Ang

(イジェクトアングル)

イジェクトボタンを押して本機からディスクを出し入れるときの操作パネルの開閉動作を設定できます。

Slp：現在のアングルのままディスクの出し入れをします。

Lvl：操作パネルがいったん水平の位置になり、その状態でディスクの出し入れを行います。その後、ディスクの出し入れが終了すると元のアングルに戻ります。

Guide

(ガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT： ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

F-ATT： ナビ音声ガイド時に、フロントスピーカーのオーディオの音を小さくします。

INT： ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」(70ページ)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

HPF

(ハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF NF

(ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LX BUS TVモニター

(エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニター (f-LZ77など) やナビゲーションシステム (HDX-700) です。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

MP3

(エムピスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3」(58ページ)をご覧ください。

NAV VOL

(ナビボリューム)

ナビ音声案内時のナビ音声案内の音量を設定することができる機能です。

Off Wait

(オフウェイト)

この機能は、電源をオフにしてからフロントパネルを取り外すのにかかる時間 (フロントパネルが裏返し始めるまでの時間) を設定できます。

フロントパネルを取り外すと盗難防止の手助けとなります。

SWPRE

(リアアウト)

リアリアアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力 (ノンフェーダー出力 “N-Fad”) に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないでサブウーファー用の出力に活用できます。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名またはアーティスト名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくでスクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておくで表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

Security

(セキュリティ)

セキュリティコードを設定しておくで、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどのあとに、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

Seek

(シーク)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

V-Offset

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“V-Offset”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520, KDC-C510, KDC-C406など）、マルチメディアプレーヤー（VD-C77）です。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- NO DISC** : ディスクが入っていない。
- TOC Error** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
- E-05** : ディスクが裏返しになっている。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-12** : 演奏しようとしたMDがデータ用です。
- NO NAME** : ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- NO ACCESS** : CDをディスクチェンジャーに入れてから1回もプレイをしていない状態でSBFを行った。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : ディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- INインジケーターが点滅**
: CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。
- Load (点滅)** : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。
- Reading** : ディスクに収録されているデータのチェック中です。

取り付け時のご注意

警告



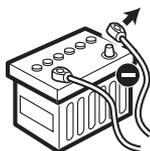
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。



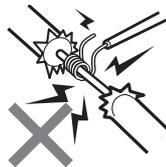
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続



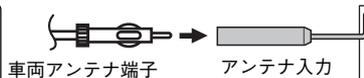
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンにします。
8. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。



ラインミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」(38ページ)の“Guide”項目を“OFF”に設定してください。



車両アンテナ端子

アンテナ入力

ヒューズ (10A)

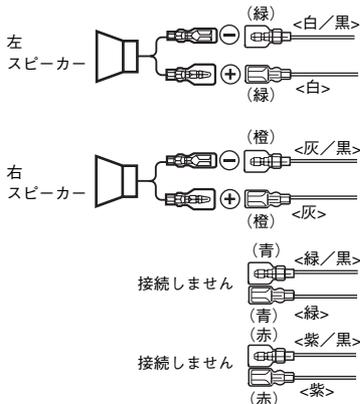
電源
ハーネス
(付属)



注意

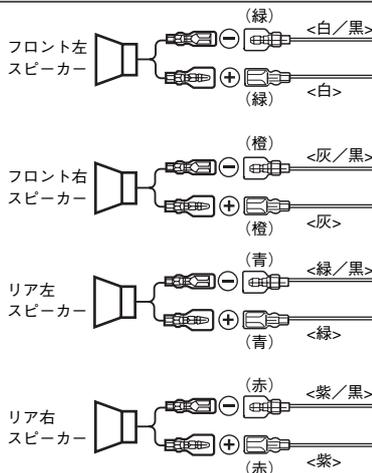
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

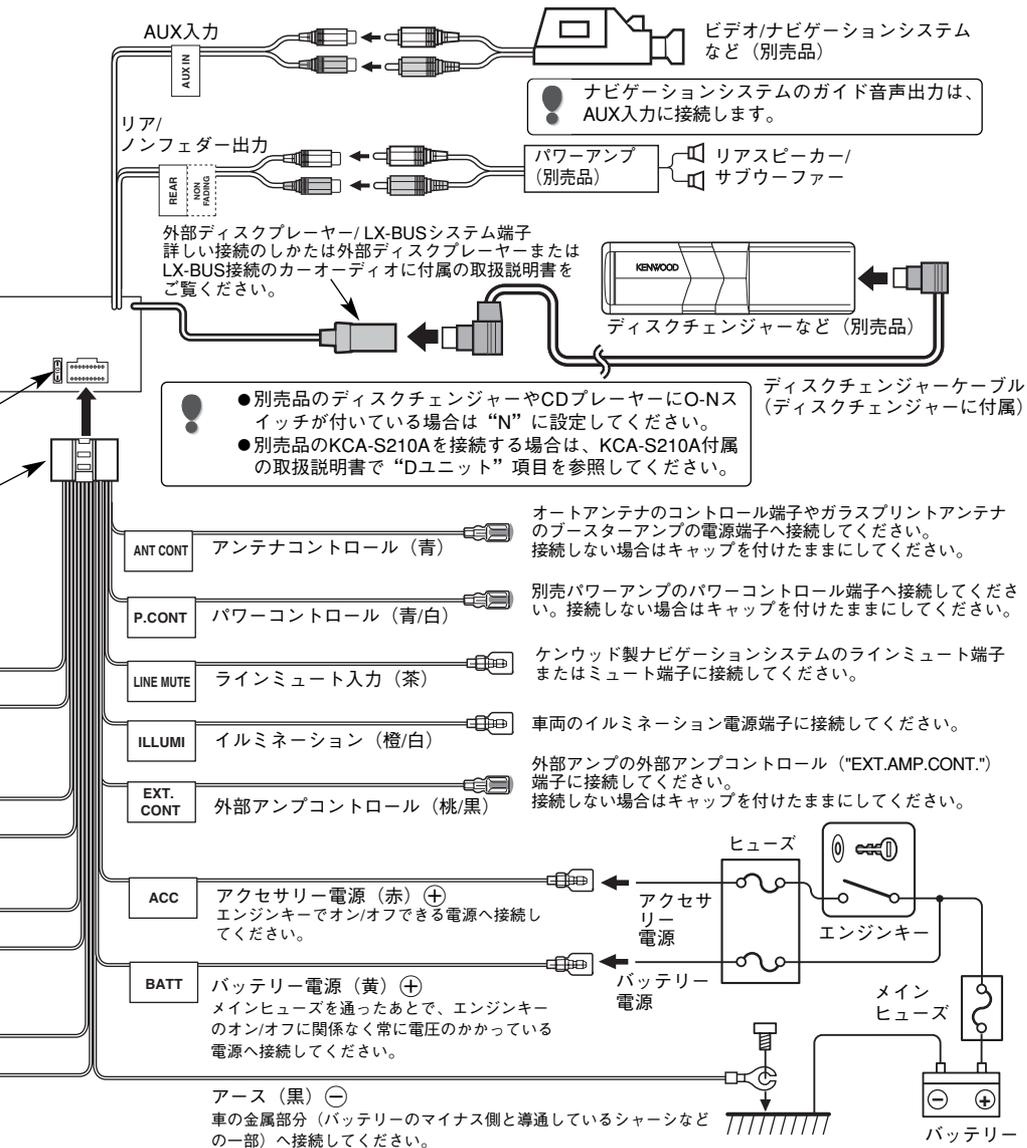
2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

- スピーカーコードの⊕ ⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

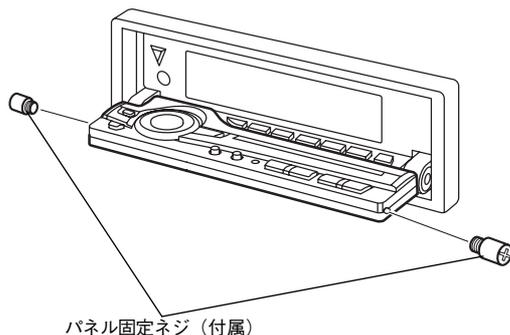




取り付け

◆操作パネルの取り外しを行わない場合

付属のパネル固定ねじを以下のように取り付けることにより、操作パネルが取り外せないようにできます。



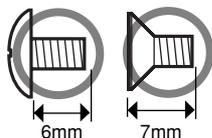
本機を取り付けるには、付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付ける方法とスリーブケースに本機を固定して取り付ける方法の2通りあります。



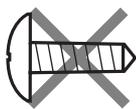
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ



その他のネジ

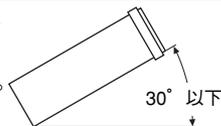


取付ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm)	4
	サラネジ (M5 × 7mm)	4
	セムスネジ (M4 × 8mm)	1



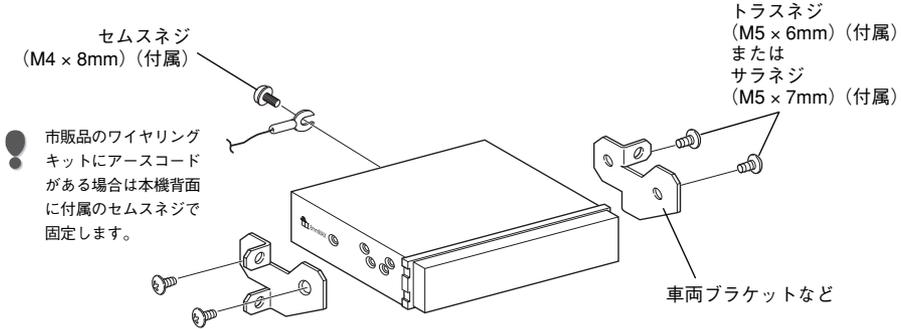
- 本機の取り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

◆車両ブラケットを使用して取り付ける場合

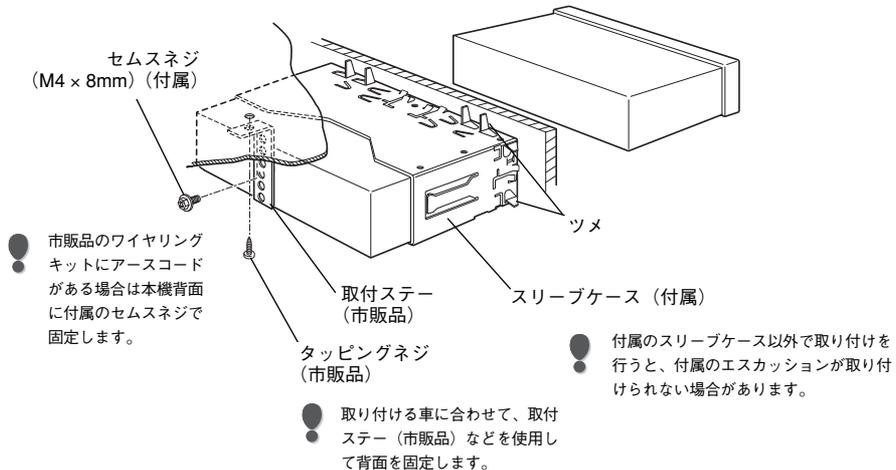
スリーブケースを本機から取り外してから取り付けを行います。



◆スリーブケースを使って取り付ける場合(マツダ車/欧州車)

1. スリーブケースを本機から取り外します。
2. スリーブケースのツメをドライバーなどで外側に曲げて、スリーブケース (付属) を車両に固定します。(下記図を参照)
3. 本機をスリーブケースに挿入します。

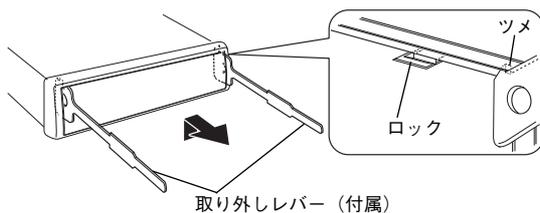
- エスカッションは上下どちらでも取り付けることができます。
- 凹み部を上にして取り付けると、ディスクの出し入れが行いやすくなります。
- エスカッションを取り付ける際は、エスカッションの凹隅を押してください。



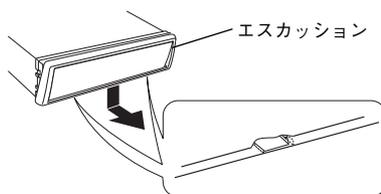
取り付け

◆スリーブケースを使用して取り付けした場合の本機の取り外しかた

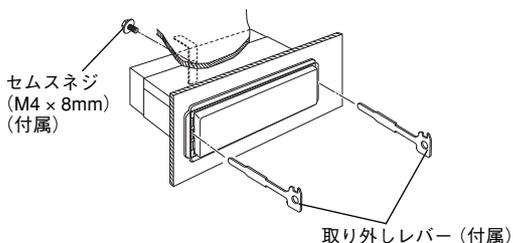
1. 付属の取り外しレバー（2本）を使用して、パネル両側の隙間に挿入し、取り外しレバーのツメをパネルにひっかけてロックを外します。



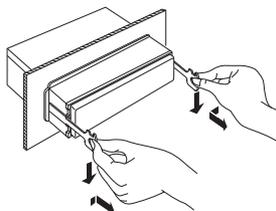
2. エスカッションを手前に取り外します。



3. 背面のセムスネジ（M4×8mm）を取り外して、取り外しレバーを右図パネル側面に差し込みます。

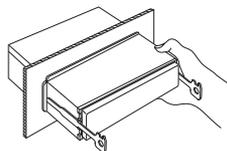


4. 取り外しレバーを下側へ押し下げながら、レバーを手前へ引き出します。

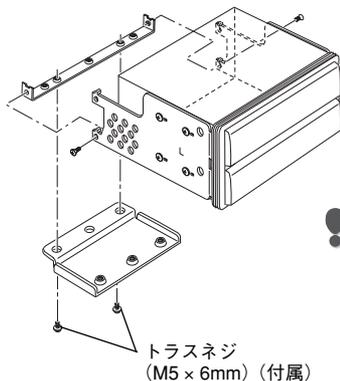


取り外しレバーの先端で怪我をしないよう、注意をして作業を行ってください。

5. 本機を手で引き出します。



◆取り付けキットSKH-460Aなどを使用してホンダ車に取り付ける場合



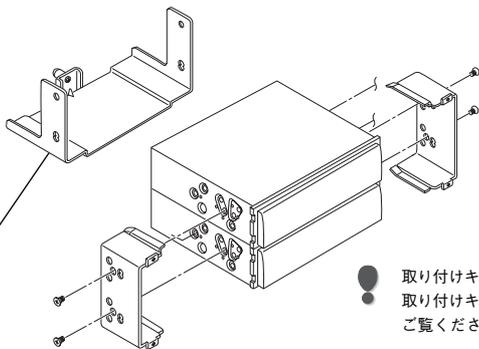
● 取り付けキットSKH-460Aによる取り付けかたは、
● 取り付けキットSKH-460Aに付属の取付説明書
● をご覧ください。



注意

取り付けキットSKH-460Aに付属の座ネジ (M5×10mm) は使用
せず、本機に付属のトラスネジ (M5×6mm) を使用して取り付
けを行ってください。
取り付けキットSKH-460Aに付属のネジを使用すると、電源コード
に触れ危険です。

◆取り付けキットSKR-471などを使用してマツダ車、欧州車に取り付ける場合



取付キットに付属
のリアブラケット
は使用しません。

● 取り付けキットSKR-471による取り付けかたは、
● 取り付けキットSKR-471に付属の取付説明書
● をご覧ください。



注意

取り付けキットSKR-471に付属のリアブラケットは使用せず、
取り付けを行ってください。

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz～15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs($\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
回転数	1000～400 rpm (線速度一定・倍速)
S/N比	105 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	95 dB
MP3デコード	MPEG-1.0/2.0/2.5 Audio Layer-3準拠

オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	30 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	2000 mV/10 k Ω (CD/CD-CHプレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (Bass)	100 Hz \pm 10 dB
(Mid)	1 kHz \pm 10dB
(Treble)	10 kHz \pm 10dB
AUX入力周波数特性	20 Hz～20 kHz (\pm 1 dB)
AUX入力最大電圧	1.2 V
AUX入力インピーダンス	100 k Ω

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 165 mm
質量 (重さ)	1.7 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
サラネジ (M5 \times 7mm)	4本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
パネル固定ネジ (M2 \times 1.5mm)	2本
取り外しレバー	2本
リモコン	1個
電池 (単3型)	2個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。